

東日本大震災メモリアル講演会 ～被災者に心寄せて～

南相馬で除染に関わった3年間を振り返り、今みなさんとともに考えたいこと

日時 3月11日日曜日10時～12時

場所 宇部ときわ湖畔ユースホテル

講師 春木英治氏

(えんどうまめ元事務局長・福島除染作業員・南相馬市除染対策課任期付職員)

参加無料 (会場募金箱にお気持ちを寄せてください)



2011年3月11日に起こった東日本大震災から7年が経ちます。15,894名が亡くなられ、まだご遺体が見つからない方が2,546名もおられます。震災関連で尊い命を失われた方が3600名以上おられます。遺族の深い悲しみは今も続いているのです。

この大震災は、津波と福島第一原発の事故による放射能汚染という二つの大きな被害をもたらしました。現在も福島県から34000名以上、宮城県と岩手県から6000名以上もの方が、故郷で暮らすことができず全国各地に避難しておられます。

「えんどうまめ」元事務局長の春木英治氏は、チェルノブイリ支援で度々キエフを訪問し、被曝者のみなさんの健康被害や廃炉作業に従事しておられる話を聞いて来られました。大震災に寄って放射能汚染が生じ除染が必要となると、2014年には南相馬市で除染作業員として働かれました。その後縁あって南相馬市の除染対策課任期付職員として、2年間被災者に寄り添ってこられました。

東日本大震災被災地から遠く離れた私たちが知らないこと、未だ解決できていないたくさんのお話があることについて、被災地で3年間生活された春木氏から「事実」のお話を聞かせていただきたいと思います。

私たちの未来をどうしていけばよいかをみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。



主催：平和を願う草の根グループ「えんどうまめ」

後援：宇部市・宇部市教育委員会・宇部日報社

連絡先/090-6847-5434

詳しくは QR コードから
えんどうまめ HP へ

